

文芸 さくらがわ

俳句

〔桜川市岩瀬「秋」俳句会〕
鷹一羽孤高に耐へて風掴む

小林 啓治

雪避けて線香に火を移しけり

萩原 勅彦

蓬摘む媼がひとり瀬音鳴る

三代 みちよ

節分と聞けば心も温みくる

入山 ひろ子

住み古りし庭にひと群敷柑子

若色 寿美女

物忘れまた物忘れ路の臺

金田 とう女

正月をやつと送りし皿小鉢

永瀬 ちい

寒冷や火種のごとく六角堂

細谷 充女

凍滝に鎮座す明王色変へず

齋藤 みよ

肥立つ兎に衣やはらかき寒の明け

萩原 きしの

〔茂山俳句会〕

立春や老いにも小さき志

鈴木 ノブ子

世にうとく噂にはやきちゃんちゃんこ

宮本 芳江

千枚田雪一枚に沈みをり

竹林 てる

吾の顔忘れし母と雑煮食ふ

宮本 立男

短歌

〔やまと早蕨歌会〕

東京のアパートの隅にタンポポが二輪花つけ
新春迎う

榎戸 栄子

吹く風に身をまかせつつ みの虫のゆらゆら
揺るる揺り籠の如

木藤 とみ

自由の身自由ならざり着ぶくれて

植田 祥雲

雪の華散らして発てる夕がらす

松崎 いま

振袖の門出に舞ふや雪の華

今井 繁子

心にもすこしゆとりの寒の明け

田崎 信子

ときいろを抱へて筑波寒明けし

君島 真理子

葉牡丹や三十路の娘縁遠く

海老沢 幸子

寒明や名のみと書きて日記閉つ

吉原 秀子

添書に夢ふくらます年賀状

笠倉 陽子

活発な子等の遊びや日脚伸ぶ

大関 くに

剪定の父の手につく脂の染み

吉原 京子

鉛筆を削る指先日脚伸ぶ

金子 弘毅

昭和忌を修す家居や貼懐炉

飯山 昭

俚謡

〔さくら俚謡会〕

明治大正飾った雛が活気あふれて客を呼ぶ

つく志 輝美

老人の部屋にも手作り雛をそつと飾って偲ぶ
過去

岩瀬 きみ子

雪のペールを被ってふたり愛を囁く福寿草

一木 みどり

義理の吊り橋人情の渡し昭和時代の忘れ物

稲葉 建正

所得申告弥生の月は後期医療費増えて泣く

田哲人

冬の雨万両さらに朱くして松の小枝によりそ
い揺れる

佐藤 悦子

譲り葉の陰に隠れしふきのとう春待ち顔に
そつと芽を出す

田中 きみ

診察にひたすら生きし夫想ふ冬の深夜の白き
手ぶくろ

中原 すみ子

脈みやくと樹海の底をくぐりくる清しき水に
春の音ひろふ

中島 龍子

土捏ねてロクロを廻し酔い知れた寮出しの日
の心ときめく

北条 正子

白生地に満てる思いをえがきたし初春の糸に
願いをこめて

皆川 米子

〔一般投稿〕
早朝に吐く息白しグランドの生徒の声は夢あ
ふるるか

袖山 千鶴子

広報 さくらがわ 有料広告 募集中!

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
- 掲載料 (月額) 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
- ※連続掲載で割引制度があります。
- 問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

日本経済の嘘と真実!
三橋 貴明氏 講演会

デフレ問題、TPP、就職難、安全保障
今抱える日本経済の嘘と真実を三橋貴明が斬る!!

3月31日(日)
講演会/16:00~17:40 (開場15:00~)
懇親会/18:10~20:00

参加費無料
定員 200名
申込はWEBで!

下館スピカ 6F
コミュニティプラザ

下館青年会議所

